

TQ-7200 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・東急7200系とその譲渡車
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(チラツキ対策を施しています。)

注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】
・ライトユニット : 1個/セット

【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱




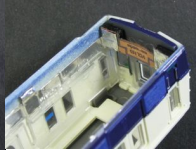

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

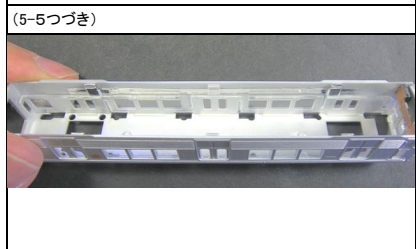
【必要な工具】

- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスドライバー
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエスチルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビエ」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ボンチ(プッシュピンなども可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒または銀)

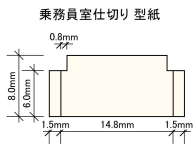

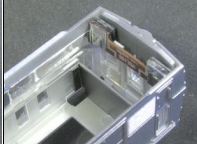
● 取り付け手順

1. 分解する			
1-1 床板を外す 	1-2 パンタグラフを外す 	1-3 屋根・窓ガラスを外す 	1-4 前面パーツを外す 
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	パンタグラフは、楊枝などで内側から押して外します。	窓ガラスは、側窓、前面の順に外します。この車種は、屋根を外すことは必須ではありません。外さない場合は、柔らかい布の上などで作業します。外す場合は、両側のツメを楊枝などで押して外します。	前面パーツは、楊枝などを使って、ライトレンズを押して外します。
2. 車体を加工する。			3a. 床板を加工する (トレーラー車の場合)
(1-4つづき) 	2-1 前面透明パーツの加工 	2-2 側窓を加工する 	
前面パーツは、扉とライトベゼルのパーツと、透明パーツの2つで構成されています。	前面透明パーツを、窓の下で切断します。ヘッドライトは使用しないので保管します。	側窓前縁を、乗務員扉の窓の下前側の角に接する45度の線でカットします。カッターで数度備を付けてから折ります。	床板前縁の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。
(3aのつづき) 	3b. 動力ユニットを加工する (動力ユニットを組み込む場合) 	4. 基板を配置する 4-1 前面パーツをはめる 	
シート前縁の運転台機器より前の部分(約2mm)をカットします。	運転台側を加工します。動力ユニットの枠は、リフより前側(スパーサー取付け穴の中心)を切り取ります。スパーサーは、写真のように両角に切れ込みを入れ、固定用のピンを切り取ります。スパーサーは、ゴム系接着剤で固定します。	まず、貫通扉とライトベゼルが一体となったパーツをはめます。	次いで、加工した前面透明パーツをはめます。
5. 配線する			
4-2 ライトユニットをはめる 	5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る 		
ライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープなどで固定します。	本紙のアルミテープ型紙を点線に沿って切り抜き、マスキングテープを使って、アルミテープの上に貼ります。カッターで、4片のアルミテープを切り出します。	側窓ガラスの下側、床板と嵌合するツメの上に、アルミテープを載せます。ツメの先端からはみ出たテープは、裏側に折り曲げます。側窓の前後左右4箇所のツメの上に載せます。	側窓を車体にはめ、アルミテープの左右に広がった部分を車体に貼り付けます。

(5-1つづき)	5-2 ライトユニットへの配線	5-3 給電パッドの重ね貼り	5-4 側窓下の重ね貼り	5-5 側窓下をアルミテープで結ぶ
				
ツメ部分のクローズアップです。	1.5mm × 19mmのアルミテープで、側窓下のアルミテープからライトユニットの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm × 5mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	側窓下の通電の確実を期して、3mm × 16mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	3mm × 65mmのアルミテープを2本用意し、前後のツメの間を結ぶように貼りつけます。中央のツメは下側を通します。



●乗務員室仕切りを取り付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
 <p>乗務員室仕切り 型紙</p> <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。(遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	 <p>乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、前側の切口までL字形に貼っておきます。</p>	 <p>乗務員室仕切りを、棧の前側に設置します。</p>

TQ-7200 説明書 3.00
 2014/08/05 1.00 初版
 2015/04/01 2.00 製品フォーマット改定に伴う新版
 2017/08/25 3.00 製品フォーマット改定に伴う新版

補修用にアルミテープ等を分売しています。
 ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
 イズムワークス・直売所
 〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15. 店舗営業はしていません。
 phone: 0468-27-7261, 10:00~18:00 土日祝休業, e-mail: shop@ism-works.shop-pro.jp.

ISM WORKS
 ism-works.shop-pro.jp

